

## 平成 26 年度第 2 回恵那市国民健康保険運営協議会 議事録

開催日 平成 26 年 11 月 13 日（木）

時 間 午後 2 時開議～午後 3 時 40 分閉議

場 所 恵那市役所 会議棟中会議室

### 出席者

1号委員 瀬瀬 俊治委員 中垣 玉夫委員 阪上 美代子委員 山本 さちよ委員

2号委員 林 浩介委員 安藤 省吾委員

3号委員 市川 美彦委員 樹神 和昭委員 宮地 政臣委員 丸山 増美委員

4号委員 山田 鉄一委員

事務局 大塩副市長 樋田市民福祉部長 鈴木医療管理部長

山村病院管理部次長 中山健康推進課長 大鋸保険年金課長

安藤上矢作病院事務長 吉村山岡診療所事務長 西尾岩村診療所事務長

籠橋保険年金課長補佐 佐藤保険年金課総括主査 谷口保険年金課主査

今井保健師

### 欠席者

2号委員 西脇 巨記委員 倉知 正委員

### 大鋸課長

定刻になりましたので、第 2 回恵那市国民健康保険運営協議会を始めさせていただきます。

本日は、皆様大変お忙しい中、ご出席して頂きまして誠にありがとうございます。私は、本日進行を勤めさせていただきます保険年金課大鋸と申します。よろしくお願いいたします。

本日は、「審議会等の会議に関する指針」に基づき、傍聴席が設けてありますのでお願いいたします。

また、本日市長は他の公務のため出席できませんので、副市長が代理出席しております。よろしくお願いいたします。

開会のことばを、樋田市民福祉部長から申し上げます。

### 樋田部長

お忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。本日は、国民健康保険料について審議していただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

それでは、第 2 回国民健康保険運営協議会を開会いたします。

### 大鋸課長

会議にあたり、本日の資料の確認をお願いいたします。あらかじめ送付いたしました、

第2回恵那市国民健康保険運営協議会 会議次第と資料1から資料5をお持ちいただいていると思います。よろしいでしょうか？また、机に国保新聞をお配りしましたのでお持ち帰りください。

それでは、協議会に先立ちまして、会長よりご挨拶お願いいたします。

市川会長

本日は、寒くなりましたがご出席いただきありがとうございます。国では、社会保障と税の一体改革について、平成29年度に向けて都道府県と市町村の役割分担について議論されているところです。広域化になるとそれぞれの市町村の医療費や収納率に応じて保険料が変わって来ると思いますが、平成27年度の保険料について、後ほど事務局から説明があるかと思いますがこのことについて、議論いただきたい。よろしく申し上げます。

大鋸課長

ありがとうございました。続きまして市長の挨拶でございますが欠席のため、副市長から挨拶申し上げます。

副市長挨拶

市長に代わりまして、挨拶させていただきます。県が保険者となり分担方式での保険料賦課になると聞いております。分担金方式とは、まだ、詳しく決まっておりませんが、県内の医療費に対し、各市の医療費実績にあわせ、保険料を決めていく方式です。そうになると、今までと同じく、各市で保険料率を決定し、徴収しなければなりません。明らかになればまた、報告させていただきます。今日は、平成27年度の予算編成に伴う国民健康保険料について審議していただくため、これから説明させていただきます。保険料については、平成25年度・26年度の2年間値上げをさせていただきました。何とか今年度は、据え置きできないかと事務局から提案させていただきますので、慎重な審議をお願いいたします。

大鋸課長

今回、欠席の知らせを 2号委員の西脇委員、2号委員の倉知委員、2名からいただいております。尚、本日の協議会に 13名中 11名のご出席を頂いておりますので、恵那市国民健康保険条例施行規則第3条の規定に基づき、定員の過半数以上の出席に達し、本会は成立していることを報告させていただきます。

では、市川会長、議事をよろしくお願いいたします。

市川会長

4番目の議事録署名者を指名します。

1号委員 山本委員と2号委員 安藤委員にお願いします。

議第1号平成27年度国民健康保険料について、事務局の説明をお願いします。

大鋸課長

それでは、平成 27 年度国民健康保険料について説明させていただきます。

(資料 1-2 説明)

籠橋課長補佐

(資料 1 説明)

市川会長

平成 27 年度の国民健康保険料据え置きと言うことで、事務局から数字の説明を、いただきましたがこれにつきましてご質問・ご意見はございませんか。

瀨瀬委員

資料 1-2 で、6 ページの保険料について、平成 26 年度 101,879 円で 13 位であるが、平成 27 年度の順位はどうなるか予測できますか。

大鋸課長

平成 27 年度の保険料について、他市の状況が分からないが、値上げする市もあれば据え置きの市もあり同じぐらいの順位になると予測している。

瀨瀬委員

県広域化になると、保険料が上がる傾向になる。基金を残して広域化になると、基金はどうなるのか。据え置きではなく、基金を取り崩し、現在の保険料を安くできないか。

市川会長

今の意見は、基金の位置づけ・現在の保険料の軽減に基金を取り崩したらどうか という質問だと思いますが、事務局の考えをお願いします。

大鋸課長

県の広域化検討委員会では、保険料の計算について、具体的な説明はない。しかし、国では分担方式での保険料計算が言われているところであり、分担方式とは、県内の医療費に対し、各市の医療費実績にあわせ、保険料を決めていく方式であると思われる。そうすると、今までと同じく、各市で保険料率を決定し、徴収しなければなりませんので、今までどおり、基金をなくすことは厳しいと思います。

2 年連続で保険料を値上げしたため前年度の繰越金も多くあり、平成 27 年度は据え置きできますが、平成 27 年度据え置くことにより、平成 28 年度は保険料収入が少なくなり、繰越金も少なくなる見込みです。平成 27 年度に基金を取り崩し、保険料を値下げすると平成 28 年度は、今以上の値上げをしなくてはならなくなる可能性もあります。そのため、値下げは厳しいと思います。

樹神委員

広域化した場合、基金は今までどおり市で使えますか。

大鋸課長

まだ、そこまで詳しくは県でも分からない状況です。

樹神委員

今は、基金を使えると言う前提での答弁であったが、半年から一年ぐらいの内にそこらへんも分かってくると思う。今は、基金を繰り入れ、個人の保険料を圧縮しているが、広域化になってからも今のようにできるかも教えていただきたい。基金は、明確になった段階で説明してほしい。

法定外繰入することを保険者がいやがっているのは、法定外繰入のペナルティを怖がっている。現時点での、法定外繰入した時のペナルティが、国や県からどれだけあるか教えてほしい。

大鋸課長

恵那市も、福祉医療の波及増分を、県や市の政策によって福祉医療を行い、普段かからない人も医療機関にかかっているとの国の判断で、補助金がカットとされている。その分は、市の繰入金として法定外繰入している。

ただ、保険料の引き下げのための法定外繰入を国は禁じている。調整交付金の中で、法定外繰入をしているかのチェック項目はあるが、それにより、どれだけの金額がカットされるのか明記されていないので分かりません。

樹神委員

また、国、県でどれだけカットされているのか、確認してください。

大鋸課長

また、調べまして、基金も明確になりましたら報告いたしますのでお願いします。

市川会長

広域になり、基金が使えるのか、基金のあり方を次回の運協で分かれば報告していただきたい。いくつかの課題を明らかにする前提で据え置きということで決定してよろしいか。

(意見無し)

市川会長

今回の、据え置きにつきましては、いくつかの課題を明らかにする前提で、決定させていただきます。

続きまして、報第1号「平成25年度恵那市病院事業会計（国保上矢作病院）決算について」事務局の説明をお願いします。

事務局説明

(資料 2 説明)

市川会長

報第 1 号「平成 25 年度恵那市病院事業会計（国保上矢作病院）決算について」説明がありました。なにか質問はありませんか。

樹神委員

上矢作病院の旧恵那市からの患者数が増えてきた、分析はしてみえましたか。傾向として、増えてきたからいいことですが、何が原因で増えてきたのか分かりますか。

安藤上矢作病院事務次長

特に分析はしておりません。

樹神委員

増えてきたことにはいろんな要因があると思うが、せっかくなので調べておくと思う。

安藤上矢作病院事務次長

中津川市を含めた 4 病院で、休日輪番制で当番をしている。当番に当たったときの患者が増えてきたのではないか。

樹神委員

旧恵那の遠いところから行ってみえるということは、何かしら魅力があると思うので、そうした分析をするという。

安藤上矢作病院事務次長

恵那市から健診で初めてみえた方で、「患者様の声」に「初めて来たが、病院内のすべてのスタッフの方から明るく、親切に接してもらった。」と大変褒めていただいた。病院のことを褒めて広めたいと言って帰られた。こうしたこともありました。

樹神委員

そういった、いい事をもっと教えてほしい。書いてもらいたい。数字が減った・増えただけでなく、そういった要因を教えてください。

市川会長

報第 1 号の決算については終わります。

続きまして、報第 2 号「平成 25 年度恵那市国民健康保険診療所事業会計決算について」

の説明をお願いします。

事務局説明

(資料3 説明)

市川会長

何か質問意見はありませんか。それでは、続きまして、報第3号「平成25年度恵那市国民健康保険特別会計決算について」事務局の説明をお願いします。

籠橋課長補佐

(資料4 説明)

市川会長

国保の決算について、何か質問はありませんか。

瀬瀬委員

3 ページの決算において、保健事業費や特定健診事業費の決算が、予算に比べ低くなっている。特定健診の受診率が低い中で予算が余っているのはどうしてか。

籠橋課長補佐

特定健診の受診率を予算上では、45%で計算していたが、25年度の受診率が38.7%しかなかったため、見込んでいた費用が余ってしまった。

市川会長

保健事業のほうはどうですか。

籠橋課長補佐

保健事業は、人間ドッグ等の事業があるが、見込んでいたより実績が少なかったためです。

市川会長

見込みに対する実績が少なかったということですが、よろしいですか。

それでは、以上で、報告3を終わります。

続いてその他「特定健診について」事務局説明をお願いします。

籠橋課長補佐

特定健診について説明(資料5)

市川会長

何か質問はありませんか。「特定健診について」のあり方や工夫等について皆様のご意

見をいただき、来年の特定健診について工夫がされると思いますがいかがでしょうか。

特定健診の受診率が低い、今後の健診のあり方・受けやすい方法など意見を出していただくと、平成 29 年度の広域化にあたり医療費の抑制になり、保険料も安くなることに繋がる。

また、特定健診の受診項目・病院にかかっている方が受診されない。予防医療における特定健診と公立病院とのかかわりが難しいと聞いたが、病院管理部長いかがですか。

鈴木病院管理部長

病院の再整備が終われば、今まで診療の合間を縫って行っていた健診が、年間多くの方の健診を行うことができる。健診のデータが多く集まれば、診療の中で治療していくことが出来ると思います。

また、診療所についても公立病院と連携を図ることにより、情報交換ができてくると思います。

市川会長

平成 28 年度以降に、新しく健康管理機能ができるので、市民に十分周知し、特定健診の期間だけでなく、いつも行けるようにして健診の受診率を上げるように各課連携を深めていただきたい。

宮地副会長

高山市・飛騨市は、特定健診の受診率が 50%以上である。高い受診率を出している市にノウハウを聞いて受診率向上に努めていただきたい。集団健診は、500 円で地元の診療所では 1000 円である。医療機関で受診しても 500 円でできるよう検討して受診率向上をお願いしたい。

中山健康推進課長

国保連合会のシステムで、医療と介護のデータが確認できるようになり、分析を行い未受診者に対して電話したりして受診率を上げていきたい。平均寿命の延伸を目指していたが、これからは、健康寿命の延伸を目指して事業を進めていきたい。

大鋸課長

恵那病院が平成 28 年度にできることを見据え、医師会に健診期間の延伸をお願いしていきたい。また、県の国保連合会で、医療機関にかかられて、特定健診の項目を受けている方のデータを市にいただき、特定健診を受診したと同じ結果が得られるように今検討している。これができると受診率が向上されてくると思う。

市川会長

林先生、医療機関側として行政に提議したいことがありましたらお願いします。

林先生

施設の充実を図ることも大事であるが、受ける側の環境を整えることが大切である。先ほどの高山の受診率が高いところに研修に行き、勉強することも大切である。働いている方は、なかなか受診されないので、働いている組織のバックアップも大切である。健康な人こそ健診を受けることが大切なので、その方たちの勧奨が大切である。

#### 今井保健師

高山市へ視察に行ってきたが、集団健診のみで特定健診を行っている。恵那市は、医療機関での健診と集団健診と併用している。集団健診に今年、文化センターを追加して行ったが、受診率には効果がなかった。保健指導は、平成24年度から25年度にかけて20%以上上がった。それは、高山市を訪問し、保健師が地区担当制で責任を持って指導し効果があったと聞き、恵那市も平成25年度から地区担当制にし、保健師が責任をもって地区の方を訪問した。その結果、今までわからなかった薬の飲み方ひとつでも間違っていることを指導し、先生に連絡したりして連携ができてきた。恵那市は、高血圧や心筋梗塞の方が多いので少しでも無くするようしていきたい。

#### 樹神委員

特定健診で個々に動いているが、健康都市宣言をしようと思うが、スポーツだけでなく他市ではポイント制を用いていて、健康な方が受診することによりポイントがたまり恩恵を受けるようになっている。それにより、スポーツ・健康推進に繋がっていく。国民健康保険で受診率が国の水準を超えたとき、国から助成金があり、保険料が安くなることを公表して、市民に知らせ特定健診のアップに繋げてほしい。

#### 市川会長

関係課がそれぞれ連携して、特定健診受診率向上に努力してほしい。

#### 瀬瀬委員

特定健診のデータを集める話がありましたが、分析が難しいと思う。保健師が、各家庭を回り指導していることは大変いいと思うが、合併後、市は職員を削除してきたが、必要な専門的などころはしっかりできるような職員配置に改善してほしい。健診の項目に、貧血検査の項目を入れてほしい。

#### 市川会長

執行部で検討をしていただきたい。では、これで終わります。

#### 宮地副会長

意見等出つくしたと思いますので、本日はこれで終わります。また、27年度保険料はこのままの状況ですが、被保険者数は年々減少し、医療費は右肩上がりに上がっていきます。基金をどうするか、国の動向を注視し情報提供していただきながら注視していきたいと思います。

本日は、長時間にわたりどうもありがとうございました。